

私は、せこく樽酒の残りを少しいただいて帰り、我が家で改めて 30 周年の余韻に一人浸りました。

数か月も前から毎週毎週行われた実行委員会。漆畑会長、鈴木靖巳実行委員長をはじめ委員会の皆さま本当にお疲れ様でした。委員会後の二次会は楽しみの一つであり、いつも楽しいひと時を過ごさせてもらいました。ワイズの楽しみ方ってこれもありかな？

こんな私ですが、これからもよろしくお願ひします。

マイタイム

高野 亨

富士ワイズメンズクラブ 30 周年の記念例会も無事に終わり、安堵感を少しずつかみしめて味わっています。昨年の川越での東日本区大会でのアピールをスタートとして、ほぼ毎週 YS30 実行委員会を重ね、3 月 24 日の高田稔氏の記念講演「サッカーこそ我が師」へは子供達 230 名の参加を頂き、充実した記念例会ができました。メンバーの皆様、本当に御苦労様でした。

誌上マイタイムという事で、テーマを考えていました。ふとカレンダーを見ましたら 4 月 11 日の例会日が私の父の命日（1 周忌）でした。そうだ、父を偲ぶ思いを書かせてもらおうと考えました。

それは、病院の退院も近かったのですが突然の死でした。1~2 ヶ月は対応に追われ、ただバタバタせわしなくしておりました。やっと落ち着いた頃、ふと心の中（頭の中）にポッカリとブラックホールがある様に感じられました。何かな？と考えると、父がいつか亡くなるという事は頭では理解できていても心がついていないんだなと思いました。私は父が 22 歳の子でしたので、年の差が近い事もあり、振り返ればいつも共に遊び共に仕事をし、もちろん生活もいっしょでした。その為、単なる父親の死だけでなく兄貴と親友の 3 人を一度に失った喪失感がポッカリとブラックホールの様に感じるんだなとつくづく思いました。

毎日、心の中では語り合い、毎週墓参をしていますが、よく言う「孝行したい時に親はなし」を身にしみて実感しています。あの時、こうしてやれば、ああしてやればと後悔の思いはつきません。残った母には後悔のない様にと思いますが、なかなか男は照れくさくてできません。

「こんな愚息で勘弁してよ」で済ますしかないのでしょうか。

富士クラブ 30 周年記念例会 3/24(土)

第一部高田稔氏「サッカーこそ我が師」講演会
第二部記念例会、第三部懇親会が多数の市民はじめワイズの仲間たちの参加のもと滞りなく行なう事が出来ました。感謝申し上げます。



“受付をしっかりと頼みますよ”



「サッカーこそ我が師」高田稔様講演
良き師と出会い、影響を受けて前に進めた



第一部講演会、330 席がほぼ埋まりました



第二部記念例会 漆畑富士クラブ会長挨拶
30 周年の感謝と富士クラブ事業を総括した



第三部懇親会 鏡開きでスタート！



京都エイブルクラブより6名がお祝いに駆けつけてくれました。



3月誕生日の皆さん、おめでとうございます。



司会の千野真紀さん、さすがアナウンサーです。



富士クラブの面々。毎週毎週話し合いを持ち、無事終了してホットしています。



飲んでよし、食べてよし。笑顔、笑顔。